



地震での被災者の明暗分かれる

文：小川 康成

熊本地震で被害にあわれた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

4月14日から続いた熊本地震では、マグニチュード7.3 最大震度7が2回、その他余震も数知れず本震・第2震と合わせて49名の死者と1名の行方不明者を出し、改めて地震の恐ろしさと防災・減災への対策の必要性を感じました。

死者の内20名以上が圧死（家屋やタンスなどの下敷きになって亡くなられた）、17名が震災関連死（避難のストレスやエコノミークラス症候群等）、9名が土砂災害によるものでした。

家屋の倒壊は、建築基準法で言う新耐震基準（昭和56年10月）以前に建てられた建物ばかりで、建物の耐震性が明暗を分けた形になりました。

現地を見てきた人の話では、九州地方は台風対策に慣れており各家庭でガラス窓の補強やガムテープをしていたりしましたが、地震についてはあまり意識されていなかったようです。

「全国の地震保険普及率は28.8%」

2014年度「損害保険料率算出機構」調べ

上記の数字、皆さまは「多いと考えますか？それとも少ないと思われますか？」
同資料では愛知県は38.7%、熊本県は22.1%となっております。

そもそも地震保険が日本で導入された経緯は昭和39年6月16日に起こった「新潟地震」と言われています。日本最悪のコンビナート火災を引き起こし、その炎は12日間燃え続けたと言います。時の総理大臣：田中角栄氏は地元新潟の惨状を目の当たりにして、個人の努力では限界があるとして地震保険を作ること提唱、大きな被害が起きた時など保険会社だけでは対応ではなく、政府がいざという時に一部支払いを肩代わりする事で、火災保険にセットし普及を図ったそうです。（但し、持ち家の人だけに公金を投入するのは公平ではないので、あくまで個人の自助努力が前提です。）

昭和41年5月に「地震保険に関する法律」が施行されました。政府が最終的な責任を引き受け、各保険会社は普及をお手伝いする立場となりました。そこには、地震保険の目的は「被災者の生活の安定に寄与する事を目的とする。」と書かれています。

つまり生活再建が主たる目的であり、建物の再建や家財の再購入が目的ではないのです。事実、東北の震災時、被災者の多くは地震保険金を当面の生活費としており、地震保険に加入していたかどうかで明暗が分かれたそうです。

弊社での地震保険加入率は、火災保険ご契約者の98%（残り2%は大半が空き家）の方が加入されています。これはきちんと「地震保険」の意味をお伝えできた結果かなと思っています。

今回は、熊本地震の詳細と地震保険で気を付けた方がよい部分についてお伝えしたいと思います。

クラークメンバー 近況報告

スマホ腱鞘炎になってしまいました…(;△;)

4月下旬ごろから左手の親指の付け根あたりに痛みを感じるようになり、物を持つのはもちろん、運転する際にシフトレバーを動かすのにも痛み思わず声が出てしまうほどでした。普通は利き手になるそうなのですが、スマホを操作する際右手だけ使うのは良くないだろうと考えて左手を使っていたので左手が腱鞘炎になってしまいました。

親指でスマホを操作していたのが良くなかったそうで、また、前に腱鞘炎になったことがあったのでそれも原因だそうです。治すにはとにかく安静にするしかないの（酷い場合は手術になるそうです）それ以降はなるべくスマホの操作は人差し指で行う等、意識的に使わないようにしていますが6月に入ってもまだ少し痛みが残っています。みなさんもスマホの操作にはご注意ください。

小池



参照画像

<http://nurse-riko.net/>より

朝活♪

皆さん、“朝活”って知っていますか？朝早く起きて普段寝ている時間に何か活動して1日を充実させようというもので、自分磨きや趣味等なにをするかはその人次第です。

今までは夜型で朝活したいなと思っていても、なかなか早起きができませんでした。最近夜早く寝るようになり朝型になってきたので少しですが朝活できるようになりました。

最近ハマっていることは大好きなホアンの美声を聴いてストレッチをしたり家事をすることです。またいつも朝食は簡単に食パンで済ませていたのですが、この前は時間があつたのでお味噌汁と卵焼きを作ってみました。食後のコーヒーもゆっくり飲んでとてもいい気分でした。朝に余裕があるといいですね。億劫な掃除も軽快にでき、1日の始まりが清々しく朝が充実します。昔から『早起きは三文の徳』と言われる所以ですね。

古川



「大須の縁日」

毎月28日に行われている大須の縁日に行きました。

広場で行われていた大道芸を見たり、食べながらブラブラと商店街を歩き色々なお店を見ていたら、赤門で似顔絵を無料で描いてくれる

イベントを見つけました。少し並びましたが、子供の似顔絵を描いて貰いました。

夕食には、世界NO.1ピッツァ職人が作る「ピッツァナポレターナ S.T.G.」などを食べ大満足、またその後少し歩き今度は、万松寺で行われている「身代わり餅」の接待を受けました。このお餅、災難や厄除けなどのありがたいお餅が、つきたての美味しい“きなこ餅”として振舞われていました。

美味しいものを食べたり、遊んだりとても楽しい1日でした。これからの様々な災難をお餅が受け止めてくれたらうれしいです。

小川 真紀

